

クルメツツジ



～クルメツツジの特徴～

クルメツツジはキリシマツツジとサタツツジの交配品種
品種改良が多く、花の色も多い。オオムラサキツツジよりは花が小さくても
葉が見えなくなるくらいに開花します。

～植付け～

ツツジは酸性土壌を好みます。鉢植えの場合は赤玉に鹿沼土やピートモス等を
多めに混ぜるとよいでしょう。
深植えは禁物です。ツツジは根で呼吸しますので、浅く植えましょう。

基本は日当たりを好みます。サツキと違い半日陰だと生育が悪く、花数は減ってしまいます。

～水やり・肥料～

地植えにした場合は基本的に水やりの必要はありません。
鉢植えの場合は水切れがおきやすいので夏は朝夕の2回
春、秋は土の状態を見て乾燥させないようにしましょう。

肥料は油カスの固形、又は化成肥料を年3回、芽吹き前、花の終わった後、秋口に
与えましょう。

～病害虫～

風通しが悪いとグンバイムシやシンクイムシ、ウンカ等が発生しますので
浸透移行性のある薬剤や殺虫剤で防除しましょう。

～手入れ～

剪定作業は花の終わった頃がベストでしょう。ツツジ類は開花後の夏ころまで形成
しますので、それ以後ですと花の数が減ってしまいます。
刈込む深さは前年伸びた分までしっかりと刈り込みます。
脇芽も増えることにより、花芽もふえるでしょう。